

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名			コード	74100	地域介護予防活動支援事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策			27		高齢者福祉の充実	根拠法令	介護保険法第115条の45(地域支援事業)	5	2	1	☒ 主な事業
施策の展開			51		介護予防の推進	戦略事業	239 地域介護予防活動支援事業				☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開						戦略事業					☐ 新市建設計画
											☐ 定住自立圏構想
											☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	平成18年度の介護保険制度改正時に地域支援事業が創設された。その内の一つである地域介護予防活動支援事業は、地区組織の育成・支援を目的としており、これまで民生委員や保健推進員など地区組織に対する介護予防教室や講演会を実施してきた。平成27年度の制度改正で、介護予防・日常生活支援総合事業がスタートし、市独自の多様なサービスが実施可能となった。地域のボランティア・介護予防のリーダーとして、高齢者の通いの場をサポートする、介護予防サポーター養成講座を、旭中央病院リハビリテーション科ほか関係機関の協力のもと開催している。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
地域づくりに資する既存の地区組織等の育成・支援とともに、平成27年度から新規に介護予防サポーター養成講座(初級編)を1コース開催している。	介護予防サポーターの養成を開始したばかりであり、今後の活動・育成など未確定の事項がある。また教室開催にあたり、関係機関との連絡調整が必要。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
27年度受講者アンケートでは「学ぶことができて良かった」「都合がつけばボランティアとして協力したい」という意見が多く聞かれた。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 報償費	01 認知症講演会講師謝礼	千円	23	0	17	0	171	
2. 需用費	81 消耗品(パンフレット、健康教育教材等)	千円	17	1	26	81	179	
3. 備品購入費	22	千円	0	0	0	22	0	
事業費計(A)		千円	40	1	43	103	350	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 国庫支出金	26 地域支援事業交付金	千円	10	11	26	88		
2. 都道府県支出金	13 地域支援事業交付金	千円	5	5	13	44		
3. 地方債	0	千円						
4. その他	42 地域支援事業繰入金・地域支援事業支援交付金	千円	17	18	42	142		
5. 一般財源		千円	8	1	9	76		

前年度増減理由	平成28年度から介護予防サポーター協力のもと住民主体の通いの場の育成・支援を開始した。体力測定用の器具や、体操に使う重りなどの物品が必要になったため。
---------	---

従事職員数	常時 2.5 人	最大 5 人	× 10 日 = 延べ 50 人
-------	----------	--------	------------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

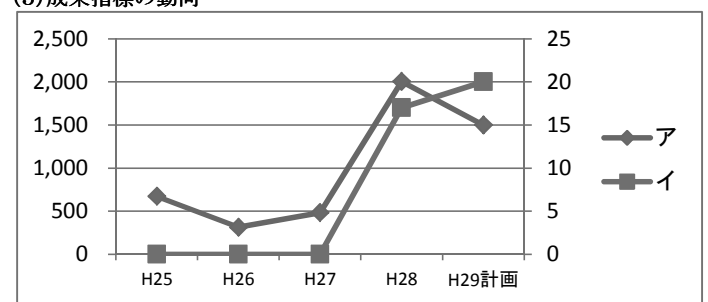
手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 介護予防サポーター養成講座初級編を2コース、中級編を1コース開催。また新規事業である通いの場の支援に関するスキル習得のため、サポーター連絡会を1回開催した。通いの場を5か所立ち上げし、3か月間のフォロー後は自主活動に移行している。3月にあさひ☆きりり体操全体大会を1回開催している。			ア	講座・研修会の開催回数	回	30	22	17	72	50
				イ	介護予防サポーター養成講座(初級編)受講証授与人数	人	0	0	12	20	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	対象 意図	地区組織や住民 高齢者が安心して地域で暮らせるように、住民同士が支え合う地域づくりを行う。		ア	地域活動組織の育成・支援講座参加者数(延べ人数)	人	672	314	482	2,007	1,500
	対象 意図	介護予防サポーター養成講座受講者 高齢者を対象にした地域のサロンを自主的に開催したり、市主催の教室等で活動することができる。		イ	介護予防サポーターが地域で活動した回数(延べ)	回	—	—	0	17	20

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	(1)		
	②			
③				
	④⑤			
⑥				
	⑦⑧			
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況											
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難											
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)											
	② 成果の状況											
	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29計画	
成果指標イ	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	成果動向	25年度	26年度	27年度	28年度	29計画			
評価内容	【コメント】 (低下の場合、その理由)											
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)											
	時期	内容			今後の方向性							
	H29年6月、H30年1月 H29年度～	・介護予防サポーター連絡会を2回開催し、サポーター同士の情報交換・スキルアップを図る。 紹介DVD作成、通いの場支援マニュアル作成			☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
					H29年1～2月 H29年度以降	介護予防サポーター養成講座中級編を開催予定。 介護予防サポーターの地域での活動の充実を図る。						